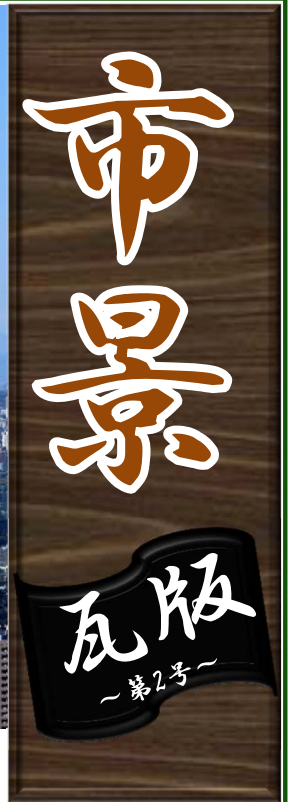


I-linkタウンからの景色(いちかわ景観100選)



【解説】市街地再開発事業により新たに誕生した街。ザタワーズウエストの45階の展望施設から市内一円の眺望を楽しむことができ、そこからの眺めは「新日本三大夜景・夜景100選」のひとつになっている。

第9回市川市景観賞決定!

【市川市景観賞とは!?】

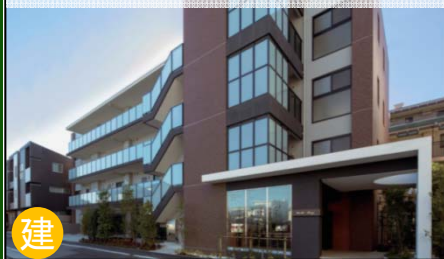
市川市景観賞は、下記の部門いずれかに該当し、本市における良好な景観の形成に顕著な功績のあった方に対して贈られる賞です。

- 啓** 啓発イベント部門：
 - ・地域のイベントや景観に関する勉強会などの実施
- 建** 建築・まちなみ部門：
 - ・良好な景観を形成する建造物の保全・管理・建築や設計
- 緑** 緑化部門：
 - ・良好な景観を形成する樹木の保全・管理
 - ・概ね5年以上継続して行っている地域の植栽活動、自然景観の保全活動
- 清** 清掃部門：
 - ・概ね5年以上継続して行っている地域の清掃活動
- 他** その他：
 - ・上記以外で、これらに準ずると認められる活動



平成28年1月20日(水)市川市役所において、第9回市川市景観賞受賞者3組の表彰式が行われました。写真左から順に、①高松建設(株)東京本店の澤本晃氏、②千本公孫樹ライトアップ実行委員会の三谷昌明氏、市川市長大久保博、③横川貞夫氏および麻恵美婦人

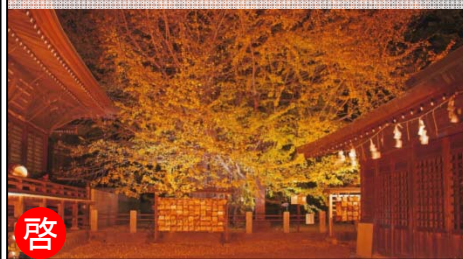
受賞者：高松建設株式会社 東京本店
件名：地域の景観に配慮した共同住宅「アビ・ルージュ」の設計・建築



建

まち並みとの「調和」、周辺環境への「寄与」、周辺環境への「潤い」をテーマとし、積極的に景観への配慮事項を計画設計へ盛り込んでいる。

受賞者：千本公孫樹ライトアップ実行委員会
件名：葛飾八幡宮境内における「千本公孫樹ライトアップ」開催による景観形成活動



啓

国指定の天然記念物である「葛飾八幡宮千本公孫樹」を対象としたライトアップ等のイベントを主催し、これを通じて葛飾八幡宮と千本公孫樹の存在を広く周知し、地域景観の普及啓発および、魅力発信をしている。

受賞者：横川 貞夫
件名：「妙典なかなか小町」構想における市民主体のまちづくり活動



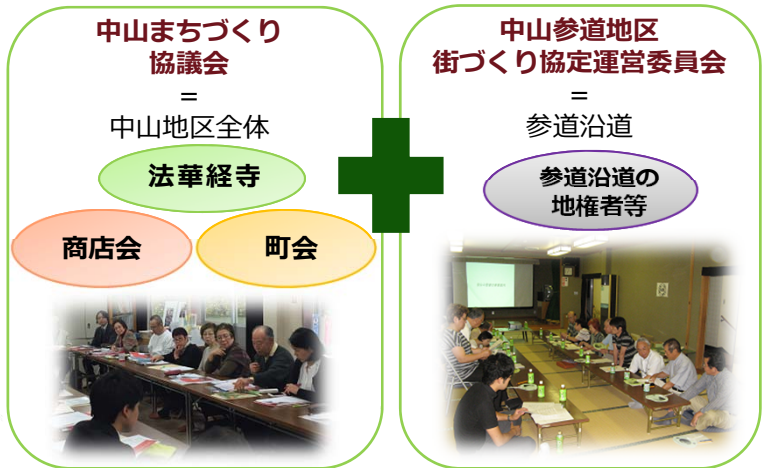
啓 建

「妙典なかなか小町」構想により、住民主体の良好な景観まちづくりを行っている。建物の建築だけに止まらず、その空間を活かし、地域住民同士でコミュニケーションがうまれるような空間をつくりだしている。

中山参道地区の景観まちづくり



中山地区の玄関口である中山参道地区では、中山参道の活性化を目的として、「中山まちづくり協議会」と「中山参道地区街づくり協定運営委員会」が中心となり、景観まちづくりを進めています。



これまでの景観まちづくりの取り組み



街なみ整備って？

中山参道地区街なみ環境整備事業

街づくり協定を締結した皆さんと市が協働して行う中山参道らしい街なみづくり

これまで8年間で21の地権者の方々が街なみ整備を実施しました



整備前は、家の前にゴミやタバコの吸殻を捨てられて困っていましたが、フラワーボックスを設置してお花を植えたら、ゴミを捨てられなくなってよかったです。



自宅を修景した住民の方



お店の整備後は、お店がきれいになって入りやすくなったのか、女性のお客さんが増えました。



お店を修景した商店の方



～寺町としての風情を醸し出す、賑わいと落ち着きのある街なみの形成～

さらなる地域の活性化に向けて～おひなまつり 4つのポイント～

中山まちづくり協議会のおひなまつり部会では、毎年2月中旬から3月3日までおひなまつりを開催しています。これは、法華経寺が祀る子育ての神様・鬼子母神にあやかり、子どもたちの健やかな成長を願うとともに、「中山」地域全体が一丸となってまちの活性化を目指すもので、今回で6回目となります。

Point② おひなまつりの運営資金

中山まちづくり協議会では、中山おひなまつりオリジナル記念品を作成しています。これは、中山まちづくり協議会の皆さんが話し合っただけで考えた経費捻出のアイデアで、今年もクリアファイルと根付け（ストラップ）を期間中販売しています。デザインもまちづくり協議会の皆さんで話し合っただけで決めました。まちづくりにかかる費用を募金だけでなく、独自に捻出する方法を考えて実践されています。



クリアファイル
根付け（ストラップ）

Point①

地域を越えた協力

開催エリアは、JR下総中山駅～中山参道～若宮商店会まで。船橋市と市川市の行政境を越えて「中山」のまちの活性化のために開催しています。

Point④ ボランティアの協力

おひなさまの設営・片付けには地域住民だけでなく、千葉商科大学、和洋女子大学の学生ボランティアの皆さん、来訪者への説明・案内などは町会のボランティアの方々の協力を得ながら運営しています。

Point③

手づくりのお祭り

美術大学に通う、商店会の方の姪っ子さんが手作りで顔出し看板を作成してくれました！法華経寺祖師堂近くにありますので是非チェックしてみてください！



まちづくりの顔 インタビュー ～中山地域編～

花吾商店 松丸 容理子さん

- 中山まちづくり協議会副会長
- 中山街づくり協定運営委員会会長
- 中山参道商店会会長

中山法華経寺 田中 見定上人

- 中山まちづくり協議会副会長
- 中山街づくり協定運営委員会副会長

Q 景観まちづくりの担い手が不足している。10年前に60代だった私たち協議会メンバーも当然のことながら今は70代となり、担い手が高齢化している。今の景観まちづくりに対する思いを伝えて、守ってほしい。思っている人が出てくれば嬉しい。

A 景観まちづくりを進める上で、「こういう街なみにしよう」という思いが一つになることが重要だと思える。まちの皆と意見を共有すること、これをどのように進めていくかを考える。一人だけでやるのではなく、気持ちを同じくする人をつくっていかないと、何かやろうというときに「一人」だと思ってしまう。

Q 景観まちづくりを行う中で、大事にされていることは何ですか？

A 景観まちづくりを進めていく中で、活動をする上でモチベーションを維持できているのはなぜですか？

Q 景観まちづくりを行う中で、大事にされていることは何ですか？

A 景観まちづくりを行う中で、大事にされていることは何ですか？

Q 景観まちづくりを行う中で、大事にされていることは何ですか？

A 景観まちづくりを行う中で、大事にされていることは何ですか？

Q 景観まちづくりを行う中で、大事にされていることは何ですか？

A 景観まちづくりを行う中で、大事にされていることは何ですか？

Q 景観まちづくりを行う中で、大事にされていることは何ですか？

A 景観まちづくりを行う中で、大事にされていることは何ですか？

Q 景観まちづくりを行う中で、大事にされていることは何ですか？

A 景観まちづくりを行う中で、大事にされていることは何ですか？

景観交流会 ～景観活動団体×景観活動団体～

1月29日に景観活動団体として活躍中の6団体の皆様にお集まり頂き、市川市の景観審議会会長である木下勇千葉大学大学院園芸学研究所教授をファシリテーターとしてお迎えし、下記のテーマについて意見交換を行いました。

当日は、交流会の事前打ち合わせで出た意見のおさらいから始まり、景観基本計画を参考にしながら、そもそもの『景観』について、また、活動の課題を挙げながら、活動を広げるために重要なことを話し合いました。

～テーマ～

景観まちづくり活動を広げるためには

どうやったら自分たちのまちを愛せるか、自分たちのまちをどう思うのか、もっと多くの市民を交えて話し合えないと広がっていかない。

市民は自分たちのまちを見なさすぎる！

景観賞受賞者が一同に集まる機会を設けたら、つながって広がっていくと思う。

地域らしさは失ってから気づくことが多い。議論する場が大事！今日だけでも、たくさんアイデアが出たし、どんどん実践していこう！

他世代が絡むように市を中心にまとめられないか



当日の様子

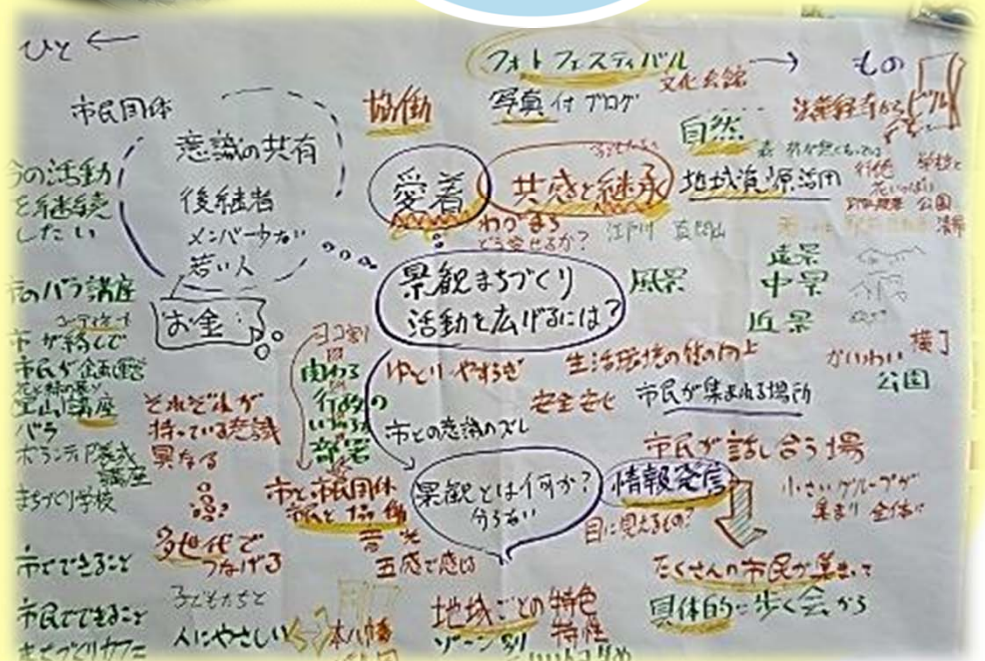
フォトフェスティバルと景観シンポジウムのコラボ

団体同士の分野を超えた連携・コラボ

まちづくり学校など講座の受講生への卒業後のまちづくりへの現場へのコーディネートが活動につながる！

まちづくりに携わっていない若い人や一般の人に参加してもらえそうなまち歩きの実施

今回出た意見を実現化できるよう、景観活動団体の皆さんと今後も交流会を開催して話し合いを続けていく予定です！



景観交流会 ～景観賞受賞者×未来の建築士たち～

1月21日に県立市川工業高校にて建築科2年生の皆さんに向けた特別授業として景観交流会〈景観賞を受賞した景観まちづくり活動の紹介と今後の展望〉を開催。

過去受賞者である行徳てらまち会様、横川貞夫様、東光電気工事(株)様、鹿島建設(株)様に高校生の前で講演を行って頂きました。この講演を通じて高校生たちが『気づき』を得て、将来、住み良い景観まちづくりに貢献してくれることを期待しています！



当日の様子

行徳は身近だけど知らない話ばかりだった。自分の住んでいる町も調べると新しい発見があると思った。

土地は親から受け継いだものだけど、それを活用し、景観づくりも役立っているのがすごい。

(東光電気工事さんは中庭を地域に開放して下さっている) 今度みんなでお茶を飲み、中庭に寄ってみたいです。僕たち市川工業の生徒と仲がいいと言ってくれる会社があるのは頼もしいです。

～高校生コメント～

(照明を設計する際に) 働く人の精神面のことも考えられていて、自分もそういう所に着目して設計できるようにしたい。

1つの建物ではなく地域で町づくりをされていてすごい。

今まで地元のことをあまり考えたことなかったけど、機会があればボランティアにも参加しようと思った。

お便り募集中

イベント・協力依頼・募集など景観まちづくりに関する情報募集中！

お知らせ

美しいまち並み紹介展を開催

美しいまち並み景観を目指し、市民、事業者、行政などが協働して進めている「ガーデニング・シティ いちかわ」の取り組みや景観まちづくり活動の具体的な内容を、パネルで紹介！

【期間】28日(日)まで 【会場】メディアパーク市川

協働花づくり(H28年春の部)募集中

育て方を一から学びながら、種からの花づくりに挑戦。参加者同士で情報交換をしながら丹精込めて育てた苗の一部を、公共施設にプレゼントすることで、まちの彩りアップ・地域の交流づくりを目指します。

【講習会(3回)】3月・5月・6月【募集締切り】2月29日
【問い合わせ先】まち並み景観整備課 047-704-0003

街ウォッチングツアー (まちCafe)

今回は幕張ベイタウン打瀬のまちを歩きながら、現地で景観まちづくりを実践している地元の方と交流会を行います！一緒に打瀬のまちを堪能しませんか？

【日時】2月28日(日) 9:00～16:30

【訪問先】千葉市幕張打瀬地区街区と海浜公園(市川市役所集合)

【参加費】500円

【問い合わせ先】まちづくりCafe高木 047-705-4817



第4回里山再生:実践講座 (わんぱくの森)

今回は都市圏における『景観形成に向けて』をテーマに実際の緑地を舞台に、実践講座を行います！ぜひノコギリと剪定ばさみを持参の上、ご参加ください！

【日時】3月5日(土)9:00～15:00

【会場】梨風東緑地 (大野町1丁目510-1付近集合)

【講師】濱野周泰教授(東京農業大学教授)

【問い合わせ先】わんぱくの森 大峡 080-6589-4885



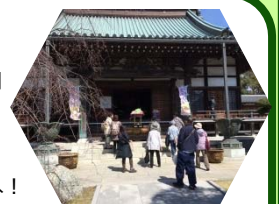
寺のまち回遊展 (てらまち会)

今年も行徳の寺院をメイン会場に、回遊展を開催！普段は公開されないお宝や、写経・座禅・お囃子をはじめとする様々な体験メニュー、発表展示・パフォーマンスをお楽しみに！

【日時】3月26日(土)9:30～15:30

【会場】旧行徳街道・権現道沿いの寺院など 詳しくはwebへ！

【問い合わせ先】てらまち会事務局 鹿島 090-4380-0036



景観見賞受賞者に聴く

Vol.1

このコーナーでは、歴代の景観賞受賞者に、どのような景観まちづくりを行っているのかお話を伺います。

第1回目は、第1回&第9回景観賞受賞者の横川貞夫さんです。

第1回受賞理由

形状、色彩等周囲の環境に十分配慮した複数の建築物の建築、周囲の植栽等によって地域の景観の向上に寄与した。

第9回受賞理由

「妙典なかなか小町構想」により、建物の建築だけに止まらず、その空間を活かし、地域住民同士でコミュニケーションが生まれるような空間をつくりだしている。

&



レストラン（インドカレー）



みんなで
わいわい収穫祭



花壇/菜園付き1戸建賃貸住宅

手づくり市、
蔵の活用について
のワークショップ



蔵

集合住宅の入居者
同士のバーベキュー
交流会♪

「妙典なかなか小町」で、
人生の楽園を楽しむ
～心つながる居心地のいい妙典～

市主催のオープン
ガーデンに参加



低層集合住宅



個人住宅&ぎやらりー&カフェ



レストラン（フランス料理）

美味しい飲食店
を誘致

Q なぜこのような景観まちづくり活動を始めたのですか？

A 20歳のときにヨーロッパ旅行6カ国訪問をして景観の良さに感動した。調和した色使い、ゆとりの空間、窓辺の花、デザインの良い看板、地下に納めたライフライン、4時に店を閉店して自分の生活を楽しむ市民、豊かさを感じる生活、建物の保存状況の良さなどを目の当たりにして、自分もこんなまちをつくれたらと思っていた。親から受け継いだ土地を地域を良くするために活用したいと思い、活動を始めた。最初は地域の人たちにどんな建物があったらいいか尋ねてみた。レストランをつくったときから「景観まちづくり」をしているという意識が変わっていった。

Q どのような思いで景観まちづくり活動がされているのですか？

A 人との和をつくって無関心社会を打破したい。今は皆がまちに無関心になっていると思う。建物をつくるのは誰でもできるが、つくった建物を命を吹き込むことができるか。その後の活用や交流があって「まちづくり」だと思っている。

Q なぜ活動を継続できているのですか？

A 例えば、蔵で手づくり市を開催した際に、訪れた方が「妙典ってこういう所だったの？」と笑顔になる。そういう笑顔の生まれる状況が生まれることが楽しみになって、次も頑張ろうと思える。また、手づくり市に出品する作家さんが知り合いの作家さんを連れてきたり、新たな横のつながりが生まれていくのが楽しい。自分を通して人のつながりが広がることが自分にとっての喜びになっている。手づくり市は収入が生まれるので、それも継続できている理由だと思う。ボランティアだけでは続かない。

Q 景観まちづくりを行う中で、大事にされていることは何ですか？

A まちづくりの原点は人だと思う。楽しい仲間がいる楽しいところに人は集まる。楽しい場づくり人づくりが重要。「人脈のある人生」は楽しい。「このまちは～だよ」とまちを見るのではなく、自分がこのまちに住んでいるのだから、自分がまちを変えていかなければならない。主体は市民。市民一人一人がまちを変える力があると思う。小さなことでも「自分から変えてみよう」と行動を起こすことが大事だと思う。



Q どんなまちになったらいいと思いますか？

A 歩くといさづがでできるようなまちにしたい。そういうまちになれば、ご近所同士が顔の見える関係となり、安全・安心なまちになる。あいさつ・対話・交流が無いと、楽しいまちとしては成り立たないと思う。